年報

2020 年度

筑波大学大学院 人間総合科学学術院
人間総合科学研究群 看護科学学位プログラム

目次

Ⅰ. 看護科学学位プログラムの組織運営 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1. 看護科学学位プログラムの目的、教育目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2. 看護科学学位プログラムの沿革 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

3. 看護科学学位プログラムの組織 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

4. 看護科学学位プログラムの施設･設備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

Ⅱ. 教育活動 ・・・ 14

1. 教育内容及び方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

2. 自発的な教育活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

3. 教育の成果と教育の質の向上及び改善のためのシステム ・・・・・・・ 15

4. 大学院教務･看護科学事務の支援体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

Ⅲ. 研究活動 ・・・ 21

Ⅳ. 大学院生支援 ・・ 47

Ⅴ. 社会貢献と国際交流 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

Ⅰ．看護科学学位プログラムの組織運営

1．看護科学学位プログラムの目的、教育目標

1)看護科学学位プログラム博士前期課程および博士後期課程の理念と目的

看護科学学位プログラム博士前期課程では、学際的及び国際的な視点に基づき、看護を科学的に探究する人材を育成することを目的とします。博士前期課程では科学的な根拠に基づいて看護の指導的な役割を担う教育者・ 研究者を目指す学生および看護の実践能力および高度な専門性を有する看護の高度専門職業人を目指す学生を求めています。

看護科学学位プログラム博士後期課程では、看護学の高度専門職者・管理者、教育者、政策・行政分野の看護・医療の専門家として専門的知識、技術を有するに留まらず、常に研究マインドを持って看護実践を検証していくことのできる能力を育成します。さらに、看護の専門領域だけではなく、「学際性」と「科学性」に基づく新しい看護の技術や教育・研究方法を開発できる能力を育成します。博士前期課程で養った看護実践能力や研究能力を活かし、さらに次代に向けて必要となる新たな知識の創造と、技術開発の基礎研究者となる教育・研究方法などについて体系化できる力を備えようとする教育者・研究者、あるいは、看護科学の基礎的な能力を修めた者で、実践と理論の架け橋となるための高度専門看護者・管理者、行政官を目指そうとする者を求めています。

2)看護科学学位プログラム博士前期課程の特色と教育目標

看護科学学位プログラム博士前期課程では、教育目的を達成するために、修了後の進路に対応した以下のプログラムを設定します：①博士後期課程への進学に向けて研究基礎力を育成する看護科学プログラム、②専門看護師としての臨床実践能力を育成する高度実践看護プログラム、③高度な教育・実践能力を持つ助産師を育成する助産学プログラム。

博士後期課程への進学に向けて研究基礎力を育成する看護科学プログラムでは、筑波大学大学院学則で規定する課程の目的を踏まえ、看護科学の領域で、社会的学術的意義が高く、看護科学の発展に寄与できる研究を実践できるよう、以下の能力を育成

します。

① 科学的根拠に基づいて看護を探究し、実践する能力

② 看護科学の基礎になる専門知識と技術をもって看護を実践・教育する能力

③ 看護を学際的な視点から科学的に分析する能力

④ 豊かな感性と確かな倫理観に基づく看護の実践能力

⑤ 国際的な看護実践を志向する能力

⑥ 国際水準の看護研究の成果を自らの実践に活かす能力

専門看護師としての臨床実践能力を育成する高度実践看護プログラムでは、筑波大学大学院学則で規定する課程の目的を踏まえ、看護分野における高度専門職業人として十分な教育・実践能力を身に付けられるよう、特に以下の能力を育成します。

① 科学的な根拠に基づいて看護を探究し、実践する能力

② 看護実践における高度な専門的知識・技術・実践能力

③ 学際的な視点で看護を科学的に分析する能力

④ 国際水準の看護実践を志向できる能力

高度な教育・実践能力を持つ助産師を育成する助産学プログラムでは、筑波大学大学院学則で規定する課程の目的を踏まえ、助産学分野における高度専門職業人として十分な教育・実践能力を身に付けられるよう、特に以下の能力を育成します。

① 科学的根拠に基づいて助産を探究し、実践する能力

② 看護科学の基礎になる専門知識と技術をもって助産を研究・実践する能力

③ 助産を学際的な視点から科学的に分析する能力

④ 豊かな感性と確かな倫理観に基づく助産の実践能力

⑤ 国際的な助産実践を志向する能力

⑥ 国際水準の助産研究の成果を自らの実践に活かす能力

3）看護科学学位プログラム博士後期課程の特色と教育目標

看護科学学位プログラム博士後期課程では、教育目的を達成するために、筑波大学

大学院学則で規定する課程の目的を踏まえて、看護科学の領域において博士の学位に相応しいだけの新規性、独創性と十分な学術的価値のある学位論文を提出できるよう、以下の能力を育成します。

① 看護実践の基盤になる科学的根拠を創出する研究能力

② 看護に関する高度な知識と技術力

③ 高度専門職者としての実践知に基づく教育・研究能力

④ 確かな倫理観と価値基準に裏付けられた研究能力

⑤ 国際水準の研究能力

2. 看護科学学位プログラムの沿革

1)博士前期課程の沿革

平成 15 年度に筑波大学は、看護短期大学から看護・医療科学類として 4 年制大学になりました。平成 18 年度に看護・医療科学類が完成年度を迎えるにあたり、大学院進学を希望する学生の受け皿となり、専門性を高める看護の大学院として、また茨城県内の看護系大学生および看護師からの強いニーズに応えるため、平成 19 年 4 月に人間総合科学研究科に設置されました。

社会的なニーズに応えるために「人間の生物身体的・教育福祉的・精神文化的の 3 側面を視野に入れながら人間に関わる総合科学の確立を目標」としている筑波大学大学院人間総合科学研究科があります。その一専攻として設置された看護科学専攻は、従来の看護学が追求してきた「科学性」のみならず、看護学と他の融合可能な学問領域との学際融合を図り「人間の総合性」を「次代を担うエビデンスの思考に立つ新たな科学」の視点に立つ「専門性」を取り入れ、「実践看護学領域」「地域健康システム看護学領域」「環境看護学領域」の 3 領域で教育が始まりました。

看護においては人々の QOL の向上を目指した、より専門的な知識と高度な看護技術、科学的根拠に基づいた的確な判断力を有した高度専門職業人の育成が求められ、平成 22 年度から専門看護師教育課程に関する科目の開講を始めました。平成 23 年度には「がん看護」「精神看護」、平成 24 年度には「慢性看護」が、専門看護師教育課程として日本看護系大学協議会より認可を受けました。専門看護師教育においては、積極

的に e-learning を導入し、対面講義・演習との組み合わせにより、教育内容の拡充に努めてまいりました。

また、平成 23 年度に専門看護師教育課程以外の科目についてのカリキュラム改正を行い、設置時の「実践看護科学領域」「地域健康システム看護学領域」「環境看護学領域」の 3 領域から、「実践看護学領域」「地域環境システム看護学領域」の 2 領域に再編しました。

平成 26 年度より高度実践看護教育のさらなる充実を図り、「家族看護」の専門看護師教育課程を追加し、日本看護系大学協議会より「がん看護」「精神看護」「慢性看護」「家族看護」の 4 分野において専門看護師教育課程（38 単位）の認定を受けました。また同年より、学生の研究力と教育力を強化することを目指し、助産師教育課程を学士教育から大学院教育に移行し（文部科学省認定）助産師養成教育を提供しています。

平成 29 年度には、前期課程内に、修了後の進路に対応したプログラム：①博士後期課程への進学に向けて研究基礎力を育成する看護科学プログラム、②専門看護師としての臨床実践能力を育成する高度実践看護プログラム、③高度な教育・実践能力を持つ助産師を育成する助産学プログラムを設定し、運営を開始しています。

令和元年度から 1 科目あたりの受講者数を増やし、学習の充実を図るため「実践看護学領域」「地域環境システム看護学領域」の 2 領域をなくし、看護科学として 1 つの専門領域にしました。

令和 2 年度に筑波大学では大学院改革が行われ、8 研究科 85 専攻を 3 学術院 6 研究群 56 の学位プログラムに再編されました。再編の目的は、各研究群では専任の教員を中心とした幅広い学問分野の教員が協働して学位プログラムの授業と研究指導を行うことにあります。また、学位授与時に学生が備えるべき知識・能力（コンピテンス）を、全学で共通の汎用力コンピテンスと、各学位プログラムに特有の専門力コンピテンスの双方から明確化し、その修得に向けた教育課程を編成しました。学生の達成度評価にあたっては、学会発表や論文作成、TA の経験やボランティア活動を含め、授業以外の活動も積極的に評価します。また学生が修了するまでに汎用力コンピテンスと専門力コンピテンスを修得できるよう、きめ細かな学修支援を行うことになりました。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、春学期は教育活動が制限されま

したが、秋学期からは対面、オンラインを含めたハイブリッドの授業を行い充実することができました。

令和 2 年度 3 月までに博士前期課程を修了する学生は 187 名となります。修了生は、保健師、助産師、看護師、養護教諭あるいは大学教員として活躍し、成果をあげています。また 18 名の修了生が専門看護師試験に合格しています。

2)博士後期課程の沿革

国際的レベルの教育・研究の拠点となることを目的として、平成 13 年に「人間総合科学研究科」が開設され、この人間総合科学研究科に平成 19 年 4 月に看護科学専攻博士前期課程が、前期課程の開設に引き続き、平成 21 年 4 月に看護科学専攻博士後期課程が誕生しました。

平成 26 年度からは、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」の中で地域基盤型高度実践看護師コースを開講し、博士後期課程における高度実践看護師の育成を開始しました。

博士後期課程においても令和 2 年度に筑波大学で大学院改革が行われ、博士前期課程同様学位プログラムとして再編されました。また博士前期課程同様に、学生が修了するまでに汎用力コンピテンスと専門力コンピテンスを設定し、コンピテンスに伴って教育課程の再編を行いました。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、春学期は教育活動が制限されましたが、秋学期からは対面、オンラインを含めたハイブリッドの授業、学位審査を行うことができました。

本専攻は平成 25 年度 3 月に初めて修了生が誕生し、博士(看護科学)が授与されました。博士(看護科学)の授与は、1 名の論文博士を含め、令和 2 年度 3 月までに計 38 名となり、日本のさまざまな保健分野で将来有望なリーダーとして活躍しています。

3. 看護科学学位プログラムの組織

1)教務委員会

庶務・履修 （担当：大宮、カツマタ）

1. COVID-19 感染拡大に伴うカリキュラム・時間割の調整
2. R2 年度科目一覧の管理、R3 年度科目一覧作成依頼
3. R3年度時間割作成
4. R2 年度シラバスの管理、R3 年度シラバスの作成依頼
5. R3 年度大学院便覧・大学院スタンダードの確認
6. R2 年度既修得単位認定（なし）・学籍管理（副指導教員変更、研究生等）
7. R3年度用学群生、科目等履修生一覧の管理
8. R2 年度修了認定（前期・後期）用資料の作成

審査 （担当：日高、菅谷）

1. COVID-19 感染拡大に伴う審査体制の調整・会場運営
2. R2 年度研究計画書（前期・後期）審査委員会案の作成
3. R2 年度予備審査委員会（前期・後期）案の作成
4. R2 年度論文審査委員会（前期・後期）案の作成
5. R2 年度研究計画書（前期・後期）審査会・発表会の実施
6. R2 年度修士論文発表会（前期）の運営
7. R2 年度研究計画書（前期・後期）審査報告書の確認
8. R2 年度予備審査報告書（前期・後期）の確認
9. R2 年度論文審査報告書（前期・後期）の確認
10. 組織変更（学位プログラム化）に伴う審査に係る提出書類の改定
11. R3年度審査スケジュール（前期・後期）案の作成

渉外 （担当：岡山、涌水）

1. COVID-19 感染拡大に伴う実習調整
2. 協力教員、非常勤講師、ゲストスピーカーに係る調整

3. 在校生オリエンテーションの企画・実施

4. インターンシップ、看護科学特別実習、CNS、助産実習、INFOSS 受講状況の確認・管理

指定規則の改定に伴う助産師課程カリキュラムの検討 （担当：岡山）

2)入試委員会

令和 2 年度の入試委員会の活動は,博士前期課程,博士後期課程の入学試験の実施とそれに伴う各種業務を遂行した。本学位プログラムの入試実施体制のなかで、出題ミス予防に向けた基準等を遵守し、適正かつ公正である入学試験となるよう入学試験を実施した。

令和 3 年度入試は、本学の Web サイトに掲載している「新型コロナウイルス等の感染拡大防止に係る受験生の留意事項」及び「健康観察記録表（大学院入試用）により、受験当日を含めた 14 日間の検温等を毎日記録した上で、それらの書面を試験場に持参してもらい、発熱等の状況を確認したうえで入学試験を行った。14 日間の健康観察のなかで発熱・咳嗽等の症状があった場合には試験場での受験は実施できないため、受験者が追試験願いを申請後に追試験の許可が得られた場合には、オンラインで追試験を行った。入学試験の実施状況は以下の表のとおりである。

＜令和 3 年度入学試験の実施状況＞

令和 3 年度入学試験は、新型コロナウイルスの感染拡大により、例年は 8 月に実施していた入学試験の実施時期が、10 月に変更された。また、博士前期課程では 10 月期、2 月期に、博士後期課程は 10 月期にオンラインでの追試験も実施した。

- 博士前期課程

10 月期入試	筆記試験	令和 2 年 10 月 15 日、口述試験 10 月 16 日
追試験	筆記試験、口述試験	令和 2 年 10 月 20 日
2 月期入試	筆記試験・口述試験	令和 3 年 2 月 2 日
追試験	筆記試験、口述試験	令和 3 年 2 月 9 日

			志願者数	受験者数	合格者数	外国人留学生内合格者数
募集人員（15名）	10月期入試	一　般	11	11	10	1
		社会人	2	2	0	0
	2月期入試	一　般	1	1	1	1
		社会人	3	3	2	0

● 博士後期課程

10月期入試　筆記試験、口述試験　令和2年10月15日

追試験　筆記試験、口述試験　令和2年10月20日

		志願者数	受験者数	合格者数	外国人留学生内合格者数
募集人員（8名）	10月期入試	12	11	8	1

＜その他の活動＞

・令和3年度　大学院募集要項を学位プログラム用に改変した

・留学を希望する外国人には、オンラインに於いて積極的に面接を実施した

＜次年度に向けた課題＞

博士前期課程では募集人員に満たないため、次年度は受験者数の増加に向けて、ポスター、パンフレット、Web ページを通じて積極的に広報を行うことにより、看護科学学位プログラムのアドミッション・ポリシーに見合う志願者を集めることとする。博士前期課程では、本学の看護学類生の進学者数の増加を目的に、有効な広報活動等について検討する必要がある。また、博士後期課程では、研究者,教育者や高度看護実践者の育成を目的に、本学博士前期課程からの進学者を推奨するとともに、広報活動等についても検討したい。

3)広報・情報委員会

■今年度の活動目標

1. 看護科学学位プログラムの入試について、ポスター、パンフレット、Web ページを通じて広報を展開する。
2. 看護科学学位プログラム関係者(授業担当教員および学生)の Web ページを通じての情報活用を支援する。

■活動状況

＜看護科学学位プログラムホームページの更新＞

ホームページ(HP)のディレクトリ・ファイルの配置を一部修正し、外部者用・内部者用にそれぞれ見やすくなるように外観を変更した。また、本年度から Google アナリティクスを導入した。

＜入試説明会の開催＞

新型コロナウイルス禍に鑑み、例年 6 月に実施している参集しての説明会を中止し、HP 上でオンライン説明会を実施した。コンテンツは例年のカリキュラムの説明、助産師要請の説明、入試に関する説明のほか、各研究室の大学院生が作成した研究領域紹介ビデオを掲載した。7 月 2 週目の公開後、入試までの期間中に延べ 2,867 名による 4,380 アクセスがあり、海外からのアクセスもあった(中国 43 名、米国 27 名、ほかタイ、香港、モンゴル、マレーシア、台湾、オーストラリア、ドイツから若干名)。

例年の説明会で実施しているアンケートでは、入試情報の入手源は HP であるという回答の比率が高く、特に今年度は大学本部の入試の実施要領の発表が例年より遅くなったため、本部からの発表があれば遅滞なくHPに情報を掲載するように努めた。

入試の終了後ゆるやかにアクセスが減っている様子がみられるが、それでも一定程度のアクセスが継続している。検索クエリ(検索で利用された語句)によれば、特に助産師コースの関心が高いことがわかっている。

■目標の達成度、次年度に向けた課題

次年度以降、再びオンサイトでの入試説明会を開催するのであれば、例年受験生の関心が比較的高いのが在校生メッセージであるので、今年度作成した研究室紹介動画は継続するのがよいと考えられる。また、看護学類からの進学希望者を積極的に開拓するために、指導教員の顔が見える口コミによる広報活動を行っていくのが効果的であると思われる。

■目標の達成度、次年度に向けた課題

1. 昨年度課題として掲げていたアクセス解析を実現するため、Google アナリティクスを導入したことでさまざまな情報が得られるようになった。まだ多くの機能の一部を利用しているにすぎないため、さらに効果的な活用法を考えていく。
2. 看護学類の優秀な卒業生を確保し続けられるよう、内部学類生への勧誘と広報を今後強化していく。学外への発信は引き続きHPの充実をはかっていく。
3. 次年度も事前予告情報を早めに流していく。在学生確保の重要度は高いので、定期的に在学生のメーリングリストにも働きかけていく。

4)FD・自己点検評価委員会

本学位プログラムにおける FD 活動は、先駆的な看護研究及び教育を行なっている海外との学術協定校等との交流を通して、教員の教育力の向上と先進の取り組みを学ぶことにある。そのために海外の協定校との連携も深めながら、海外看護教員を招聘し、教育方法の改善に向けたFDコンサルテーション、研修会議等を実施してきた。

平成 29 年度～令和元年度には、は、高度看護実践看護者の育成と実践への起用、臨床と教育のコラボレーション、アクティブラーニングを取り入れた国際的交互性のある高度看護実践教育をキーワードとしたFDセミナーを開催し、専門看護師の育成や臨床看護の場との連携など、今後の教育の向上に向けた検討を行った。しかし、令和 2 年度はCOVID-19 の感染拡大の影響により、オンサイトでの国際交流セミナーは開催できなかった。今年度は、看護学類との共催として、「新型コロナ流行下の看護技術教育：米国におけるオンラインを活用した学内演習と病院実習」（講師：米国パース大学　岩間恵子先生）をテーマに Zoom を使ったオンラインセミナーを開催した。米国の看護大学におけるコロナ流行下の学内演習と臨地実習について、具体的な感染予防対策、授業の準備・実施・評価の方法、実習病院と大学の連携、今後の課題などについて米国の状況や具体策、リソースの情報共有をしていただき、本学教員との質疑応答をおこなった。両国の看護教育のコロナ対応についての情報共有や課題の明確化に繋がり、有意義な会となった。

また、論文指導や学位審査に関して、教育力・研究指導力向上を目指して「教員の研究エフォートを向上し、業績の生産性をあげるための方策について考える」をテーマにしたFD を実施した。教員個人の能力を高めるとともに、教員間の共同認識をはかりながら、看護科学学位プログラムとしての教育力・研究指導力を高めるようにしている。

授業評価に関しては、全科目において実施し、学生からの評価を教員にフィードバックしている。今年度からは全学共通の TWINS を用いたオンラインでの授業評価となり、担当教員へのフィードバックや他の科目との比較などがしやすくなった。また学生からの評価を元に、カリキュラムや授業内容の検討を行っている。

今後も、積極的に海外の提携大学ともつながりを深めていくとともに、教員の教育力の向上につながるような FD 活動の企画運営を進めていく。

5)ICT・国際活動委員会

令和 2 年度は、コロナウイルス感染症の関係で対面での活動が難しい年になったが、Zoom などのオンライン会議システムを使った国際活動や、オンラインでの授業やコミュニケーションをサポートする活動を実施した。ICT 活動においては、4 月に Zoom 会議システ

ムの活用についての体験会を行った。コロナ対応で大学院の授業へ参加が難しい学生のために、リモート参加が可能になるように共同利用棟 B103 講義室のインターネットへの接続が安定するように施設設備委員会と協力をして環境の整備に努めた。国際活動においては FD 委員会との共催で「新型コロナ流行下の看護技術教育：米国におけるオンラインを活用した学内演習と病院実習」（講師：米国パース大学　岩間恵子先生）をテーマに Zoom を使ったオンラインセミナーの開催を行った。

2 月には、教員と大学院生の国際的な学術活動支援と論文の生産性を向上させることを目的に国際学会の抄録募集時期に合わせて「英語抄録攻略法-How to write a winning abstract.」をオンライン方式で開催し、多数の参加を得た。論文投稿を準備している大学院生や国際学会への抄録提出を準備している学生達の個別指導の時間を作りサポートも実施、4 月に行われる国際学会に演題がアクセプトされ発表する機会を得た。

4. 看護科学学位プログラムの施設・設備

1）施設設備委員会

施設・設備委員会は、4B 棟、共同利用棟 B および健康医科学イノベーション棟を中心とした研究教育環境の充実と管理運営、会議室やセミナー室など専攻に関わる諸室の調整と有効活用を目標として活動している。

■本年度の施設・設備の整備状況

看護科学専攻・学位プログラム大学院生および教員に関連する医学医療系の取り組みとして以下のものがあげられる。

1.医学エリア内の禁煙対策として、納品検収所の建物内に分煙キャビンが設置され、運用中である。

2.従来大学院看護生理学実験室として運用してきた共同利用棟 B106 を教室に転用することにして、残されている備品を希望者に対して再配分し、引き取り手のいない不要な備品・設備は 2021 年 1 月末に廃棄した。年度内に教室として整備する。

3.共同利用棟 B 内全体で利用できる無線 LAN アクセスポイント（SSID：kangokagaku）を

設置した。

■今後の課題

1.附属病院と学系棟との間にセキュリティドアの設置が検討されており、平成 30 年度に一部設置されるはずだったがまだ整備されていない。

2.附属病院 B 棟の耐震改修工事が始まり、2023 年 10 月までかかる予定になっている。それに関連して、附属病院への動線が何度か制限・変更される見込みであるので注意を呼び掛けていく。

3.4D 棟及び 4C 棟の耐用年数は 20 年程度のため、2024 年、2026 年には使用することが難しくなることが考えられ、引き続き検討されることになっている。

4.セミナー室など予約スペースの適正な利用を促進し、看護科学学位プログラムの教育・研究環境が安全に保ち充実するよう努める。

Ⅱ. 教育活動

1. 教育内容及び方法

R3 年 4 月より、改組前の看護科学専攻を母体とした「看護科学学位プログラム」が開設され、その教育理念のもとに組み立てられたカリキュラムを実施した。学位は、当該専攻で授与している「看護科学」を引き継いだ。

本学位プログラム（博士前期課程）では、看護科学の領域で扱われる課題で研究を行う研究者の養成を目指している。また、専門看護師や助産師の資格取得を目指す高度専門職者の養成課程も提供している。科学的根拠に基づいた探究力、専門領域における実践力、看護の学際性、看護の感性と倫理観、国際通用性を目指す実践力を学生に修得させることで、看護実践の基礎になる専門知識・技術・実践能力を備えた看護職者を養成している。学生の達成度は、修士論文あるいは特定の課題研究（看護実践に活用できるエビデンスについての検討、あるいは、エビデンスに基づいた実践内容の評価について、研究として系統的にまとめられた成果物）によって最終的に評価している。

本学位プログラム（博士後期課程）では、学際的および国際的な視点に基づき、看護学の高度専門職者、教育者、研究者、政策・行政分野の看護・医療の専門家として専門的知識、技術を有するに留まらず、常に研究マインドを持って看護実践を検証していくことのできる人材を、さらに、看護の専門領域だけではなく、「学際性」と「科学性」に基づく新しい看護の技術や教育・研究方法を開発できる人材を、養成している。

カリキュラムの詳細は、授業科目一覧と各科目のシラバスを参照

2. 自発的な教育活動

＜M1 勉強会＞

【参加者】

阿部吉樹 大学院生（前期課程 1 年の参加希望者）

【目的】

研究計画書の作成に向けて、基礎的な知識を整理する。

【方法】

オンライン上で実施。阿部が動画を作成し、Teams 上にアップする。参加者は各自で動画を視聴し、不明な点や理解を深めたい点について、参加者間でディスカッションを行ったり、阿部に質問したりする。

【日時・内容】

動画をアップ時期は 2021 年 2 月 15 日～3 月 9 日で、3 月 23 日時点で公開中。

第 1 回　論文とはなにか

第 2 回　研究計画書とはなにか

第 3 回　クリニカル・クエスチョンからリサーチ・クエスチョンへ

第 4 回　文献の使いかた

第 5 回　論文クリティーク

第 6 回　概念を定義するということ

第 7 回　測定ということ

第 8 回　概念間の関係性を想定するということ

第 9 回　改めて文献の使いかた

第 10 回　改めてリサーチ・クエスチョンとは

第 11 回　概念図とはなにか

第 12 回　方法を決めるということ

第 13 回　分析方法を決めるということ

第 14 回　研究計画書を書く

第 15 回　論理的な文とは

3.教育の成果と教育の質の向上及び改善のためのシステム

＜本年度の学位論文のテーマ＞

看護科学専攻博士後期課程

亀山　千里

NICU から退院する乳児の児童虐待リスクアセスメントシートの開発と妥当性の検証

宗澤　紀子

胃がん術後患者の自己効力感が QOL に与える影響

青木　真希子

月経周期に伴う認知機能の客観的評価―PMS 症状の有無による脳血流の特徴―

工藤　理恵

糖尿病外来における看護師のための口腔管理支援実践ガイドの開発」

<u>看護科学専攻前期課程</u>

松本　知美

被虐待児と保護者への支援における乳児院職員の経験ー他機関連携及び多職種連携に焦点をあててー

壹岐　聡恵

きょうだい児をもつ重症児の在宅移行期における主養育者の体験

氏家　寿美子

看護学生における自己開示とコミュニケーション・スキルの関連

大島　優海

勤労者におけるインターネット利用の実態とインターネット依存の関連要因

岡野　成美

「妊娠安定期」にある妊婦の e ヘルスリテラシーと健康行動

小川　光江

児童精神科看護師の倫理的課題への対処と相談行動への捉え方との関連

柿野　日菜

IBCLC の資格を取得している助産師による母乳不足感をもつ母親に対するエモーショナル・サポートのプロセス

菊池　若奈

「WHO recommendations: Intrapartum care for a positive childbirth experience」における分娩第2期までのケアに対する日本の助産師の認識と実践能力との関連

城所　眞紀子

児を亡くした夫婦の対処行動が相互のコミュニケーションにもたらす影響

後藤　あゆみ

医療的ケア児の在宅移行に向けた家族支援におけるNICU看護師のケアの視点

佐藤　沙紀

外国人妊産婦とのコミュニケーションにおける助産師の経験に関する質的研究

椎葉　奈子

外国人妊産婦におけるソーシャルサポートとうつ症状の関連性

田端　一成

精神科看護師のリカバリー支援能力とその関連要因

辻　志保里

勤労者の余暇活動がリカバリー経験とワーク･エンゲイジメントに与える影響

寺澤　瑛利子

生後1か月以降の乳児を持つ母親の抑うつ傾向と児に対する感情との関連

宮崎　真理子

アルコール依存症者の疾患特異的健康関連QOLに関連する要因

和田　秋花

ファントムを用いた会陰保護実施時の会陰にかかる圧力･せん断力分析―測定方法の検討と熟練助産師および初学者との比較―」

＜FD活動実績と今後の課題＞

令和2年度看護学類FDセミナー（看護学類主催、看護科学学位プログラム共催）

日時：12月2日（水）18:00～19:30　場所：Zoomオンラインミーティング

- 「新型コロナウィルス流行下の大学教育：コミュニティパワーが大学生をエンパワメント若者と一緒にコミュニティエンパワメントする取組を教材に」
  - 芹澤高斉先生（淑徳大学コミュニティ政策学部教授、文科省高等教育審議会委員）

令和2年度看護学類国際交流セミナー（看護学類主催、看護科学学位プログラム共催）

日時：1月26日（火）10:00～11:30　場所：Zoomオンラインミーティング

- 「新型コロナウィルス流行下の看護技術教育：米国におけるオンラインを活用した学内演習と病院実習」
  - 岩間恵子先生（米国ニューヨーク市マウントサイナイ・モーニングサイド病院　循環器 ICU 看護師、ペース大学看護学部　助教）

令和 2 年度看護科学学位プログラム FD セミナー（主催）

日時 2 月 15 日（月）、3 月 1 日（月）、5 日（金）　場所：共同利用棟講義室等

- 「教員の研究業績を増やすには」
  - 参加者による討論、FD 委員による内容の取りまとめ

令和 2 年度は FD 委員会主催のセミナーを 1 回、共催のセミナーを 2 回開催した。今年度の国際共同セミナーは、COVID-19 の感染拡大の影響により、オンサイトでの開催ができず、Zoom を用いたオンラインでの開催となった。「新型コロナ流行下の看護技術教育：米国におけるオンラインを活用した学内演習と病院実習」（講師：米国パース大学岩間恵子先生）を看護学類との共催として実施した。米国の看護大学におけるコロナ流行下の学内演習と臨地実習について、具体的な感染予防対策、授業の準備・実施・評価の方法、実習病院と大学の連携、今後の課題などについて米国の状況や具体策、リソースの情報共有をしていただき、本学教員との質疑応答をおこなった。両国の看護教育のコロナ対応についての情報共有や課題の明確化に繋がり、有意義な会となった。

また、論文指導や学位審査に関して、教育力・研究指導力向上を目指して「教員の研究エフォートを向上し、業績の生産性をあげるための方策について考える」をテーマにした FD を実施した。研究業績をさらに増やすうえで障害もしくは促進材料となるもの、解決に向けての提案（自らできそうなこと、周囲への要望、何から始められそうか）について、職位の近い教員同士での自由なディスカッションが行えた。

授業評価に関しては、本年度からは TWINS を用いたオンラインでの実施とした。全科目において実施しており，学生からの評価を分析することができた。

今後も,積極的に海外との提携大学ともつながりを深めていくとともに,教員の教育力の向上につながるような FD 活動の企画運営を進めていくことが課題である。

4. 大学院教務･看護科学事務の支援体制

看護科学専攻･学位プログラムは,大学院教務ならびに看護科学事務から学生に対してさまざまな支援を受けている。主な支援内容を下記にまとめる。

＜大学院教務の学生に関する主な支援業務＞

1. 看護科学学位プログラムの入学試験
2. 学位記授与式,新入生オリエンテーション
3. 大学院生のTA関係業務
4. 外部資金申請関係（文科省等）
5. 学生の派遣･受け入れ関係
6. 非正規性受入れ関係（科目等履修生,研究生）
7. 成績管理関係
8. 非常勤講師関係
9. 学籍異動関係
10. 授業料債権関係
11. 学外実習関係
12. 専修免許関係
13. 調査･統計関係

＜看護科学事務の学生に関する主な業務＞

1. 相談対応
2. 入学時オリエンテーション準備
3. 提出物等の受取
4. 郵便物の配布
5. 授業教室の予約
6. 教室予約受付･管理
7. 令和元年度共同利用棟 B103･107･204･205･206･207
8. ロッカーキーの貸出･管理
9. 印刷機、備品の管理

10. 消耗品(トナー、インク、用紙)の交換
11. TA 任用、管理
12. メール配信:ほとんどが大学院教務,学生支援からの依頼による学生へメール配信
13. 各発表会、審査会サポート
14. 入試の準備・手伝い
15. 学位記授与式の準備・手伝い
16. 予算管理

Ⅲ. 研究活動

1. 教員･学生の個人業績

※教員の個人業績については TRIOS 参照

http://www.trios.tsukuba.ac.jp/scripts/websearch/index.htm

A. ウィメンズヘルス看護学･ 助産学研究グループ

■教授　　岡山久代

■准教授　　川野亜津子

■助教　　金澤悠喜

□看護科学専攻　博士後期課程 3 年　龜山千里

＜論文＞

1) 龜山千里, 岡山久代.（2020）.NICU 入院児における児童虐待のリスク要因の分析―退院後の虐待の有無と「児童虐待アセスメント・ツール」との関連―.日本周産期・新生児医学会雑誌,56（3）,410-416.

＜学会発表＞

1) 龜山千里, 上澤弘美.（2020）. 卒後 3～5 年目看護師を対象とした看護倫理研修方法の検討.日本看護倫理学会第 13 回年次大会. 誌上開催.日本.

2) 高野理恵子, 龜山千里,吉田友美, 白井謙太朗, 渡辺章充, 渡部誠一.(2020). 子ども虐待疑い症例をめぐる各職種間の考え方の相違.日本小児科学会雑誌. 124（2）. 356.

3) 越山実希, 龜山千里, 大和田茂美, 遠藤香織.（2020）. MFICU に入院中の初産婦をもつ夫の思いーテキストマイニングによる分析よりー. 母性衛生. 61（3）. 202.

4) 龜山千里, 岡山久代.（2020）.NICU から退院する乳児の児童虐待リスクアセスメントシートの開発　内容妥当性と表面妥当性の検討.小児保健研究.79.207.

5) 志摩未来，菊池若奈，寺澤瑛利子，青山真悠子，亀山千里，西村舞，海野多栄子，今野和恵，浅野美礼，岡山久代．(2020)．小児看護領域の排泄ケア（採尿）の困難・工夫点と排泄センサシステムに対するニーズ調査．第 8 回看護理工学会学術集会．オンライン．日本．

6) 西村舞，亀山千里，志摩未来，星野美香，和田秋花，大村圭緒，青木真希子，内藤紀代子，浅野美礼，岡山久代．(2020)．仰臥位における新生児の頭部体圧と寝具の高さおよび沈み込みの深さの関係～新生児モデル人形を用いた圧測定～．第 8 回看護理工学会学術集会．オンライン．日本．

＜専門誌寄稿＞

1) 亀山千里．(2020)．【NICU に入院となった子どもの親のこころのケア】ケアの実際　精神疾患合併または既往歴がある母親へのケア．小児看護．へるす出版．43（9）．1112-1119.

＜社会活動＞

1) 茨城県立中央看護専門学校　3 年課程小児看護学　非常勤講師

2) 土浦看護専門学校　3 年課程小児看護学　非常勤講師

3) 茨城県結城看護専門学校　3 年課程小児看護学　非常勤講師

4) 土浦協同病院附属看護専門学校　3 年課程小児看護学　非常勤講師

5) 筑波大学大学院人間総合科学研究科看護科学専攻助産師教育課程　講師

6) 茨城県立医療大学助産学専攻科　講師

7) 茨城キリスト教大学大学院　兼任講師

＜シンポジウム＞

1) 亀山千里．(2020）.総合周産期母子医療センターにおける対応と課題.第 39 回茨城県母性衛生学会学術集会シンポジウム.

＜公的な委員会＞

1) 日本母乳哺育学会教育委員

2) 茨城県母性衛生学会幹事

□看護科学専攻　博士後期課程 3 年　青木真希子

＜論文＞

1） Makiko Aoki, Masato Suzuki, and Hisayo Okayama.（2020）. Assessing n-back task performance of menstrual adult women: Comparison with and without premenstrual syndrome, Journal of Nursing Science and Engineering, 8, 47-57.

2） 青木真希子, 鈴木聡.(2021). 子守帯装着におけるヒューマンエラーから見たアフォーダンス性の検討.母性衛生, 61(4), 714-723.

＜学会発表＞

1） Makiko Aoki, Masato Suzuki, Hisayo Okayama.（2020）. Comparison of cerebral blood during emotional stimuli in the presence or absece or absence of premenstrual syndrome. 23rd East Asian of Nursing Scholars (EAFONS). Chiang Mai. Thailand.

2） 青木真希子, 鈴木雅登, 岡山久代, 高尾秀伸.（2020）.月経前症候群を示す成人女性における N-back 課題遂行の評価.第 28 回人間工学システム大会部会.オンライン開催

3） 青木真希子, 鈴木聡.（2020）. 子守帯装着における方略表現法の提案. 日本人間工学会第６１回大会. オンライン開催

4） 青木真希子, 鈴木聡, 高尾秀伸.（2020）.客観的周産期うつ診断法を目指した NIRS による認知機能評価―妊娠による認知機能への影響―. 第６１回日本母性衛生学会総会・学術集会.オンライン開催

5） 青木真希子, 鈴木雅登, 鈴木聡, 青山真悠子, 内藤紀代子, 所恭子, 今野和穂, 海野多栄子,岡山久代.(2020). 黄体期における月経前症候群を示す女性の気分と N-back 課題遂行能の特徴. 第 8 回看護理工学会学術集会. オンライン開催.

6） 星野美春, 青木真希子, 内藤紀代子, 所恭子, 浅野美礼, 岡山久代.(2020). 性成熟期女性の性周期に伴う気分の縦断的変化―Premenstrual

Syndrome の有無による比較―.第 8 回看護理工学会学術集会．オンライン開催

7） 西村舞,龜山千里,志摩未来，星野美春，和田秋花，大村圭織，青木真希子，内藤紀代子，浅野美礼，岡山久代．(2020).仰臥位における新生児の頭部体圧と寝具の高さおよび沈み込みの深さの関係－新生児モデル人形を用いた圧測定―．第 8 回看護理工学会学術集会．オンライン開催

＜競争的資金獲得状況＞

1） 岡山久代（分担者：松崎一葉，青木真希子，内藤紀代子）． 2018～2021 年度， 基盤研究 C． 女性ホルモンの変化と高次脳機能の定量評価―脳血流計測カメラの臨床応用の可能性－．

2） 青木真希子.2019~2022 年度,基盤研究 C. 安全のための子守帯装着における行動形成要因（PSF）の明確化

□看護科学専攻　博士後期課程 3 年　内藤紀代子

＜論文＞

1） 安宅和佳奈，岡山久代，内藤紀代（2020）．子産後 1 ヵ月の女性の骨盤底筋力の実態および分娩に関する要因との関連性の検討．看護理工．7：43-50

2） 内藤紀代子，二宮早苗，岡山久代，森川茂廣（2020）．女性の骨盤底筋機能評価における機器の検討～PFM トレーナーと超音波診断装置の関連～．びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部研究紀要 第 12 号 67-70

3） 杉本栄子，内藤紀代子（2020）．制作した教材絵本（こども～きいて!!こどものつぶやき～）の教育者からの評価分析．びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部研究紀要 第 12 号　印刷中

4） 内藤紀代子，原結歌，岩崎信子，新屋久幸（2020）．新型コロナウイルス感染症に対する本学学生の実態調査～感染第 1 波における意識の考察～印刷中

＜学会発表＞

1) 内藤紀代子，古川洋子（2020）．福祉施設の児童が在籍する小学校での性教育にあたり検討した内容の分析．第 61 回日本母性衛生学会．浜松，リモート

2) 青木真希子，鈴木雅登，鈴木聡，青山真悠子，内藤紀代子，所恭子，今野和穂，海野多栄子,岡山久代.(2020)．黄体期における月経前症候群を示す女性の気分と N-back 課題遂行能の特徴．第 8 回看護理工学会学術集会．オンライン開催．

3) 内藤紀代子，二宮早苗，森川茂廣，遠藤善裕，岡山久代（2020）．骨盤底の機能評価における新型 PFM トレーナーの妥当性の検討.第 8 回看護理工学会．大阪，リモート

4) 西村舞，龜山千里，志摩未来，星野美春，和田秋花，大村圭緒，青木真希子，内藤紀代子，浅野美礼，岡山久代.（2020）．仰臥位における新生児の頭部体圧と寝具の高さおよび沈み込みの深さの関係～新生児モデル人形を用いた圧測定～．第 8 回看護理工学会学術集会.オンライン開催，大阪．日本．

5) 星野美春,青木真希子，内藤紀代子，所恭子，浅野美礼，岡山久代(2020)，性成熟期の性周期に伴う気分の縦断変化―Premenstrual Syndrome の有無による比較―，第 8 回看護理工学会，大阪，リモート

6) 内藤紀代子，古川洋子，猪飼七子，井上朱美（2020）．新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県下の保育士等の対応の実態調査．第 51 回 滋賀県公衆衛生学会，滋賀，リモート

＜競争的資金獲得状況＞

1) 基盤研究 C 内藤紀代子（分担者：二宮早苗，齊藤祥乃，遠藤善裕，森川茂廣）画像工学技術を用いて骨盤内を可視化した骨盤底筋訓練用動画の開発と効果検証

2) 岡山久代（分担者：松崎一葉，青木真希子，内藤紀代子）． 2018～2021 年度， 基盤研究 C． 女性ホルモンの変化と高次脳機能の定量評価―脳

血流計測カメラの臨床応用の可能性－

3) 古川洋子（分担者：野田正人，内藤紀代子，板谷裕美）． 2018～2022 年度， 基盤研究 C． 児童自立支援施設に併設された学校における性に関す健康教育プログラムの開発

4) 内藤紀代子． 2020～2022 年度，環びわ湖大学・地域コンソシーアム事業．課題：大学生による子どもたちへの性犯罪予防のＳＮＳの使い方．啓発活動

＜講演会＞

1) 内藤紀代子．(2020)． 滋賀県湖東支部健康推進員協議会での講演「女性の健康と骨盤底筋」

＜研修会の講演＞

1) 内藤紀代子．(2020)公益社団法人栗東青年会議所公開例会研修会講師「性=心が生きる どうお子さんと分かち合う？」

2) 内藤紀代子．(2020)． 滋賀県保育士キャリアアップ研修「保育所における感染症対策ガイドライン」講師

3) 内藤紀代子．(2020)． 滋賀県保育士キャリアアップ研修「保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン」講師

4) 内藤紀代子．(2020)． 滋賀県保育士キャリアアップ研修「事故防止及び健康安全管理」講師

5) 内藤紀代子．(2020)． 滋賀県保育士キャリアアップ研修「アレルギー疾患の理解」講師

6) 内藤紀代子．(2020)． 滋賀県保育士キャリアアップ研修「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」講師

7) 内藤紀代子．(2020)教員免許更新講習講師教育現場で知っておきたい「病気とケガの対応」講師

＜出前講義＞

1) 内藤紀代子．(2020)． ライフスキル．東近江市立朝桜中学校　2 年生．

2) 内藤紀代子．(2020)． ライフスキル(性教育)．滋賀県立能登川高等学校

１年生.

3） 内藤紀代子.（2020）. ライフスキル(自分の心身の健康を守る方法). 滋賀県立彦根東高等学校　１年生

4） 内藤紀代子.（2020）. ライフスキル(自分の心身の健康を守る方法). 近江八幡市立八幡東中学校１．３年生

5） 内藤紀代子.（2020）. ライフスキル(自分の心身の健康を守る方法). 滋賀県立能登川高等学校定時制　全学年

6） 内藤紀代子.（2020）. ライフスキルと性教育. 滋賀県立甲南高校高等学校３年生

＜公的な委員会＞

1） 看護理工学会評議員

2） 滋賀県助産師会第三地区支部長

3） 滋賀県母性衛生学会誌編集委員

＜その他＞

内藤紀代子.（2020）. 公衆衛生事業功労者公益財団法人滋賀県健康づくり財団理事長表彰受賞

□看護科学専攻　博士後期課程３年　青山真悠子

＜学会発表＞

1） 志摩未来, 菊池若奈, 寺澤瑛利子, 青山真悠子, 龜山千里, 西村舞, 海野多栄子, 今野和穂, 浅野美礼, 岡山久代.(2020).小児看護領域の排泄ケアの困難・工夫点と排泄センサシステムに対するニーズ調査.第８回看護理工学会学術集会.オンライン開催, 大阪.日本.

2） 青木真希子, 鈴木雅登, 鈴木聡, 青山真悠子, 内藤紀代子, 所恭子, 今野和穂, 海野多栄子,岡山久代.(2020). 黄体期における月経前症候群を示す女性の気分と N-back 課題遂行能の特徴. 第 8 回看護理工学会学術集会. オンライン開催.

□看護科学学位プログラム　博士後期課程１年　海野多栄子

＜学会発表＞

1）志摩未来，菊池若奈，寺澤瑛利子，青山真悠子，龜山千里，西村舞，海野多栄子，今野和穂，浅野美礼，岡山久代.(2020).小児看護領域の排泄ケアの困難・工夫点と排泄センサシステムに対するニーズ調査.第８回看護理工学会学術集会.オンライン開催，大阪.日本.

2）青木真希子，鈴木雅登，鈴木聡，青山真悠子，内藤紀代子，所恭子，今野和穂，海野多栄子,岡山久代.(2020). 黄体期における月経前症候群を示す女性の気分と N-back 課題遂行能の特徴. 第 8 回看護理工学会学術集会. オンライン開催.

□看護科学学位プログラム　博士後期課程１年　今野和穂

＜論文＞

1）Kazuho Konno,（2021）. Relationship between stressors, stress reactions and hardiness in Japanese mothers of early neonatal babies: A cross-sectional study. Japan Journal of Nursing Science. 18 (1), e12381.

＜学会発表＞

1）志摩未来，菊池若奈，寺澤瑛利子，青山真悠子，龜山千里，西村舞，海野多栄子，今野和穂，浅野美礼，岡山久代.(2020).小児看護領域の排泄ケアの困難・工夫点と排泄センサシステムに対するニーズ調査.第８回看護理工学会学術集会.オンライン開催，大阪.日本.

2）青木真希子，鈴木雅登，鈴木聡，青山真悠子，内藤紀代子，所恭子，今野和穂，海野多栄子,岡山久代.(2020). 黄体期における月経前症候群を示す女性の気分と N-back 課題遂行能の特徴. 第 8 回看護理工学会学術集会. オンライン開催.

＜社会活動＞

1）東京都中央区健康チェック　ママの健康チェック　プレ更年期担当

＜公的な委員会＞

1） 更年期と加齢のヘルスケア学会幹事

□看護科学専攻　博士前期課程　2年　岡野成美

＜学会発表＞

1） 岡野成美，金澤悠喜，川野亜津子．（2021）．妊婦のｅヘルスリテラシーに関する文献検討．第35回日本助産学会学術集会．神戸．日本．

□看護科学専攻　博士前期課程　2年　柿野日菜

＜学会発表＞

1） 柿野日菜，川野亜津子，金澤悠喜．（2021）．母乳不足を感じる母親に対する母乳育児支援の実態に関する文献検討．第35回日本助産学会学術集会．神戸．日本．

□看護科学専攻　博士前期課程2年　菊池若奈

＜学会発表＞

1） 志摩未来，菊池若奈，寺澤瑛利子，青山真悠子，龜山千里，西村舞，海野多栄子，今野和穂，浅野美礼，岡山久代.(2020).小児看護領域の排泄ケアの困難・工夫点と排泄センサシステムに対するニーズ調査.第8回看護理工学会学術集会.オンライン開催，大阪.日本.

□看護科学専攻　博士前期課程2年　寺澤瑛利子

＜学会発表＞

1） 志摩未来，菊池若奈，寺澤瑛利子，青山真悠子，龜山千里，西村舞，海野多栄子，今野和穂，浅野美礼，岡山久代.(2020).小児看護領域の排泄ケアの困難・工夫点と排泄センサシステムに対するニーズ調査.第8回看護理工学会学術集会.オンライン開催，大阪.日本.

□看護科学専攻　博士前期課程　2年　松田怜夏

□看護科学専攻　博士前期課程2年　和田秋花

＜学会発表＞

1）西村舞，龜山千里，志摩未来，星野美春，和田秋花，大村圭緒，青木真希子，内藤紀代子，浅野美礼，岡山久代.（2020）．仰臥位における新生児の頭部体圧と寝具の高さおよび沈み込みの深さの関係～新生児モデル人形を用いた圧測定～．第8回看護理工学会学術集会．オンライン開催，大阪．日本．

□看護科学学位プログラム　博士前期課程　1年　宇佐美絵里

□看護科学学位プログラム　博士前期課程1年　大村圭緒

＜学会発表＞

1）西村舞，龜山千里，志摩未来，星野美春，和田秋花，大村圭緒，青木真希子，内藤紀代子，浅野美礼，岡山久代.（2020）．仰臥位における新生児の頭部体圧と寝具の高さおよび沈み込みの深さの関係～新生児モデル人形を用いた圧測定～．第8回看護理工学会学術集会.オンライン開催，大阪.日本.

□看護科学学位プログラム　博士前期課程1年　志摩未来

＜学会発表＞

1）志摩未来，菊池若奈，寺澤瑛利子，青山真悠子，龜山千里，西村舞，海野多栄子，今野和穂，浅野美礼，岡山久代.(2020).小児看護領域の排泄ケアの困難・工夫点と排泄センサシステムに対するニーズ調査.第8回看護理工学会学術集会.オンライン開催，大阪.日本.

2）西村舞，龜山千里，志摩未来，星野美春，和田秋花，大村圭緒，青木真希子，内藤紀代子，浅野美礼，岡山久代.（2020）．仰臥位における新生児の頭部体圧と寝具の高さおよび沈み込みの深さの関係～新生児モデル人形

を用いた圧測定～. 第 8 回看護理工学会学術集会.オンライン開催, 大阪. 日本.

□看護科学学位プログラム　博士前期期課程　1 年　西村舞

＜学会発表＞

1) 西村舞, 龜山千里, 志摩未来, 星野美春, 和田秋花, 大村圭緒, 青木真希子, 内藤紀代子, 浅野美礼, 岡山久代.（2020）. 仰臥位における新生児の頭部体圧と寝具の高さおよび沈み込みの深さの関係～新生児モデル人形を用いた圧測定～. 第 8 回看護理工学会学術集会.オンライン開催, 大阪. 日本.

2) 志摩未来, 菊池若奈, 寺澤瑛利子, 青山真悠子, 龜山千里, 西村舞, 海野多栄子, 今野和穂, 浅野美礼, 岡山久代.(2020).小児看護領域の排泄ケアの困難・工夫点と排泄センサシステムに対するニーズ調査.第 8 回看護理工学会学術集会.オンライン開催, 大阪.日本.

□看護科学学位プログラム　博士前期課程　1 年　山崎真依

＜学会発表＞

1) 山崎真依, 川野亜津子, 金澤悠喜.（2021）. 発達障害のある母親と家族の育児における困りごととその支援に関する文献検討. 第 35 回日本助産学会学術集会. 神戸. 日本.

B. 発達支援看護学研究グループ

■准教授　　涌水理恵

■助教　　小澤典子

□看護科学学位プログラム 博士後期課程 1 年 齋藤佑見子

＜論文＞

1) 涌水理恵, 齋藤佑見子, 望月梢絵, 黒木春郎.（2020）新型コロナウイルス

感染症(COVID-19)拡大状況下で小児科クリニックをかかりつけ医とする子どもの主養育者のオンライン診療に対する意識調査. 日本看護研究学会雑誌（掲載前）

□看護科学専攻 博士前期課程 2 年 壹岐聡恵

＜学会発表＞

1) 壹岐聡恵, 涌水理恵, 後藤あゆみ, 桒原雛子, 市川睦, 藤岡寛.(2020)在宅で重症心身障碍児を養育する家族と医療スタッフに向けた『家族エンパワメント啓発パンフレット』作成の試み. 第 67 回日本小児保健協会学術集会 79 巻講演集(一般演題 P1-051)

2) 小林京子, 本田順子, 涌水理恵, 平田美佳, 日置章子, 壹岐聡恵, 後藤あゆみ, 望月梢絵.(2020)保育園･幼稚園における新型コロナ感染症対策アクションリスト作成および運用の試み. 第 40 回日本看護科学学会学術集会(一般演題 O22-06)

3) 涌水理恵, 三木明子, 壹岐聡恵, 後藤あゆみ.(2020)小児科外来における患者･家族の暴言･暴力･セクハラ･嫌がらせへの対応力を強化する研修テキストの開発. 第 40 回日本看護科学学会学術集会(一般演題 JS3-04) **JANS40大会賞受賞**

＜交流集会＞

1) 涌水理恵, 藤岡寛, 西垣佳織, 佐藤伊織, 松澤明美, 市川睦, 壹岐聡恵, 後藤あゆみ.(2020)在宅で重症児を養育する家族へのエンパワメントプログラムの開発報告と全国展開に向けた検討. 第 27 回日本家族看護学術集会(交流集会 4)

2) 松澤明美, 西垣佳織, 藤岡寛, 佐藤伊織, 壹岐聡恵, 後藤あゆみ, 涌水理恵.(2020)研究知見･理論･当事者との協働に基づく在宅で重症児を養育する家族へのエンパワメントプログラムの開発. 第 40 回日本看護科学学会学術集会(交流集会 K43)

□看護科学専攻　博士前期課程 2 年　後藤あゆみ

＜学会発表＞

1) 壹岐聡恵，涌水理恵，後藤あゆみ，桒原雛子，市川睦，藤岡寛.（2020)在宅で重症心身障碍児を養育する家族と医療スタッフに向けた『家族エンパワメント啓発パンフレット』作成の試み. 第 67 回日本小児保健協会学術集会 79 巻講演集(一般演題 P1-051)

2) 小林京子，本田順子，涌水理恵，平田美佳，日置章子，壹岐聡恵，後藤あゆみ，望月梢絵.（2020)保育園･幼稚園における新型コロナ感染症対策アクションリスト作成および運用の試み. 第 40 回日本看護科学学会学術集会(一般演題 O22-06)

3) 涌水理恵，三木明子，壹岐聡恵，後藤あゆみ.（2020)小児科外来における患者･家族の暴言･暴力･セクハラ･嫌がらせへの対応力を強化する研修テキストの開発. 第 40 回日本看護科学学会学術集会(一般演題 JS3-04) **JANS40大会賞受賞**

＜交流集会＞

1) 涌水理恵，藤岡寛，西垣佳織，佐藤伊織，松澤明美，市川睦，壹岐聡恵，後藤あゆみ.（2020)在宅で重症児を養育する家族へのエンパワメントプログラムの開発報告と全国展開に向けた検討. 第 27 回日本家族看護学術集会(交流集会 4)

2) 松澤明美，西垣佳織，藤岡寛，佐藤伊織，壹岐聡恵，後藤あゆみ，涌水理恵.（2020)研究知見･理論･当事者との協働に基づく在宅で重症児を養育する家族へのエンパワメントプログラムの開発. 第 40 回日本看護科学学会学術集会(交流集会 K43)

□看護科学学位プログラム　博士前期課程 1 年　望月梢絵

＜論文＞

1) 涌水理恵，齋藤佑見子，望月梢絵，黒木春郎.（2020）新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大状況下で小児科クリニックをかかりつけ医とする子どもの主養育者のオンライン診療に対する意識調査. 日本看護研究学会雑

誌（掲載前）

＜学会発表＞

1） 小林京子，本田順子，涌水理恵，平田美佳，日置章子，壹岐聡恵，後藤あゆみ，望月梢絵.（2020）保育園・幼稚園における新型コロナ感染症対策アクションリスト作成および運用の試み．第 40 回日本看護科学学会学術集会（一般演題 O22-06）

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 1 年 WANG TONG

C. がん看護・緩和ケア研究グループ

■教授　　水野道代

■助教　　牟田理恵子

■助教　　山下美智代

□看護科学専攻 博士後期課程 3 年 宗澤紀子

□看護科学専攻 博士後期課程 3 年 Ummi Pratiwi Rimayanti

□看護科学専攻 博士後期課程 3 年 曽冬艶

□看護科学専攻 博士前期課程 2 年 丸山直美

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 1 年 山本絢子

D. 精神保健看護学研究グループ

■教授　　森千鶴

■助教　　菅谷智一

□看護科学専攻　博士後期課程 3 年　近藤千春

□看護科学専攻　博士後期課程 3 年　田野将尊

＜論文＞

1)　小貫亜希子，田野将尊，竹内秀子，大澤勲，後藤博道（2020）．血液透析施設における心理職の活動と役割．総合病院精神医学（印刷中）．

2)　加瀬亜希子，岡村眞喜子，石橋咲子，澁澤盛子，竹内朋子，岩本郁子，高橋智子，酒井一夫，玄順烈，田野将尊，小嶋奈都子，朝澤恭子（2020）．看護技術の到達目標の達成に向けた実習指導者と大学教員との連携会議の取り組み．看護展望 45 (8), 73-79.

3)　淺田道幸，西村基記，田野将尊，竹内朋子（2020）．看護ケアによるN95 微粒子マスクのフィットファクターの推移．結核 95 (2), 33-39.

＜書籍＞

1)　田中留伊 編著　村松仁，田野将尊，中村裕美，菅原裕美，小川賀恵（2020）．看護師国家試験対策　2021 年第 99 回～109 回看護師国家試験問題収録　解いて、わかる！覚えて合格！精神看護学問題集，ピラールプレス，東京．

＜学会発表＞

1)　滝澤夕妃，田野将尊，小貫亜希子，馬場美智代，畠山恵美，後藤博道．リエゾンチームの活動よる看護師への効果．第 23 回日本腎不全看護学会学術集会，2020 年 11 月 21 日/22 日，広島，日本（Web 開催）．

2)　田野将尊，菅谷智一，森千鶴．日本の精神科病院における地域生活支援に関する文献レビュー.第 40 回日本看護科学学会学術集会，2020 年 12 月 12 日/13 日，東京，日本（Web 開催）．

3)　藤村朗子，田野将尊，黒澤範子，久保恭子，桜井礼子，堀田昇吾，松山妙子，岩渕起江，三浦由紀子，吉田亜希子，萬弘子，宮川幸子，古田博子，橋本佳美．看護学臨地実習における実習指導者と大学教員の連携を目指した連携会議の取り組み．第 40 回日本看護科学学会学術集会，2020 年 12 月 12 日/13 日，東京，日本（Web 開催）．

4) 伊勢航来，新井柚花，安真菜美，岩崎莉香，久米朋志，齋藤鮎夏，鈴木進吾，中村早希，西野えりか，西山和希，小川賀恵，田野将尊，村松仁．在宅で生活している精神障害者における防災対策と防災意識の検討-大学生との比較を通して-．第 40 回日本看護科学学会学術集会，2020 年 12 月 12 日/13 日，東京，日本（Web 開催）．

5) 馬場美智代，田野将尊，大澤勲，小貫亜希子，滝澤夕妃，高橋保子，後藤博道．透析非導入選択時の CKD チームおよびリエゾンチームの役割，第 31 回日本サイコネフロロジー学会学術集会・総会，2021 年 2 月 13 日/14 日，熊谷，日本（Web 開催）．

＜競争的資金獲得状況＞

1) 田野将尊．精神科救急・急性期病棟看護師のための地域生活の視点を持った看護プロトコールの開発．日本学術振興会科学研究費補助金．若手研究．2019 年度-2021 年度

＜社会活動＞

1) 明星大学人文学部福祉実践学科　非常勤講師

2) 医療法人埼友会埼友草加病院　非常勤看護師（リエゾンアドバイザー）

3) 第 17 回日本クリティカルケア看護学会学術集会査読委員

4) 第 40 回日本看護科学学会学術集会交流集会　企画者「精神看護学実習における臨地実習指導者と教員の連携を考える」．2020 年 12 月 12 日/13 日，東京（Web 開催）．

5) 東京医療保健大学・立川市共催公開講座　講師「うつを知ってこころの健康づくり～自分のこころと対話していますか？～」．2020 年 11 月 19 日，立川．

＜その他＞

1) 田野将尊（2020）．メディカコンクール　第 110 回看護師国家試験対策テスト第 1 回，メディカ出版，大阪．問題・解答・解説作成

2) 田野将尊（2020）．メディカコンクール　第 110 回看護師国家試験対策テスト第 2 回，メディカ出版，大阪．問題・解答・解説作成

3) 田野将尊（2020）．メディカコンクール　第 110 回看護師国家試験対策テスト第 3

回，メディカ出版，大阪．問題･解答･解説作成

4） 田野将尊（2020）．メディカコンクール 2022 年受験者対象 基礎学力到達度チェックテスト，メディカ出版，大阪．問題･解答･解説作成

□看護科学専攻 博士後期課程 3 年 尾形佑香

＜論文＞

1） 佐藤佑香，菅谷智一，森千鶴．（2020）．「統合失調症者のリカバリー」についての概念分析．実践人間学，11，9-23.

2） 佐藤佑香，森千鶴．（2020）．看護学生の多次元共感の要素間の関係．看護教育研究学会，12(1)，3-13.

3） 工藤あずさ，佐藤佑香，菅原裕美，菅谷智一，森千鶴．（2020）．統合失調症者の色に対して抱く感情と印象および自己の感情を表す色．実践人間学，11，48-59.

4） 髙橋智子，松山友子，川﨑香織，佐藤佑香，淺沼智恵，木村弘江．（2020）．「視点共有ミーティング」の導入による副看護部長の看護管理ラウンドの変化ーアクションリサーチを用いてー．日本看護管理学会，24(1)，175-185.

＜学会発表＞

1） 佐藤佑香，菅谷智一，佐藤みつ子，森千鶴．（2020）．看護学生の多次元共感とメタ認知の関連．第 14 回看護教育研究学会学術集会，誌上発表．

2） Yuka Sato, Tomokazu Sugaya, Chizuru Mori. (2020). A Concept Analysis of Recovery for Schizophrenia., Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing 31th International Nursing Research Congress, virtual event.

3） 佐藤佑香，菅谷智一，森千鶴．（2020）．統合失調症者のリカバリーの構成要素について-フォーカスグループインタビューを用いて-．第 30 回日本精神保健看護学会学術集会，web 開催．

4） 菅谷智一，佐藤佑香，菅生菜月，佐藤みつ子，森千鶴．（2020）．看護大学生の生活状況とインターネット依存に関する調査．第 46 回日本看護研究学会学術集会，web 開催．

＜競争的資金獲得状況＞

1） 公益信託　山路ふみ子専門看護教育研究助成基金(2020).「統合失調症者のリカバリー尺度開発」 研究代表者:佐藤佑香

□看護科学専攻　博士後期課程 2 年　大出順

＜論文＞

1) 大出順.(2021).看護師の倫理的行動と組織風土がバーンアウトに与える影響の検討, 帝京科学大学紀要. 17(1).

＜学会発表＞

1） 大出順.(2020). 看護師の倫理的行動尺度の尺度構成の再検討-高次因子分析と階層的因子分析の結果から-. 日本看護倫理学会第 13 回年次大会. 島根, 日本.

2） 大出順.(2020). 看護師のチームの連携･協働と倫理的行動との関係. 日本看護倫理学会第 13 回年次大会. 島根, 日本.

＜社会活動＞

1） 日本看護倫理学会誌　論文査読担当

＜その他＞

1） 大出順.(2020). 放送大学　看護師国家試験支援ツール、国家試験過去問解説作成(4問担当)

□看護科学学位プログラム　博士後期課程1年　工藤あずさ

＜論文＞

1) Azusa KUDO, Tomokazu SUGAYA, Chizuru MORI(2020). The Relation between Metacognition and Empathy in Nurses. *The Japan Association of Applied Psychology,* 46(3).(印刷中)

2) 工藤あずさ、佐藤佑香、菅原裕美、菅谷智一、森千鶴(2020). 統合失調症者の色に対して抱く感情と印象および自己の感情を表す色. 実践人間学, 11, 48-59.

＜学会発表＞

1) Azusa KUDO, Tomokazu SUGAYA, Chizuru MORI(2020). Nurses' Countertransference Feelings towards Psychiatric Patients and Empathy, APNA 34th Annual Conference, September, Virtual.

2) 西将希、工藤あずさ(2020). 高校生における精神障害者に対する態度と接触体験の関連. 日本看護研究学会第 46 回学術集会, オンライン.

3) 工藤あずさ、菅谷智一、森千鶴(2020). 患者ー看護師関係における精神科看護師の感情の特徴, 日本精神保健看護学会第 30 回学術集会, オンライン.

□看護科学専攻　博士前期課程 2 年　氏家寿美子

□看護科学専攻　博士前期課程 2 年　小川光江

□看護科学専攻　博士前期課程 2 年　田端一成

□看護科学専攻　博士前期課程 2 年　宮崎真理子

□看護科学学位プログラム　博士前期課程 1 年　西将希

＜学会発表＞

1)西将希, 工藤あずさ. 高校生における精神障害者に対する態度と接触体験の関連. 第46回日本看護研究学会学術集会, 2020 年 9 月, 札幌

□看護科学学位プログラム　研究生　小澤理香子

＜学会発表＞

1) 小澤理香子、菅谷智一、森千鶴. 看護師のワーク･エンゲイジメントと仕事の資源の関連. 第 40 回日本看護科学学会学術集会. 2020 年 12 月. オンライン.

2) 小澤理香子、菅谷智一、森千鶴. 看護師のレジリエンスと仕事の資源の関連. 第 14 回看護教育研究学会学術集会. 2020 年 12 月. 誌上発表.

E. 国際発達ケア:エンパワメント科学研究室

■教授　　安梅勅江

□看護科学専攻　博士後期課程 3 年　厚澤博美

＜論文＞

厚澤博美, 田中笑子, 渡邊久実, 渡邉　多恵子, 安梅勅江.(2020). 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討. 日本保健福祉学会誌, 26(1), 3-14.

F. 地域健康・公衆衛生看護学研究グループ

■教授　　山海知子

■准教授　　大宮朋子

■助教　　出口奈緒子

□看護科学専攻　博士前期課程 2 年　大島優海

□看護科学専攻　博士前期課程 2 年　辻志保里

□看護科学学位プログラム　博士前期課程 1 年　郭帥

G. 療養調整看護学研究グループ

■教授　　日高紀久江

■准教授　　浅野美礼

■准教授　　柴山大賀

■助教　　阿部吉樹

■助教　　萩野谷浩美

□看護科学専攻　博士後期課程 3 年　　工藤理恵

＜論文＞

1) Kudoh, R., Shibayama, T., & Hidaka, K. (2020). The role of knowledge and self - efficacy on dental consultation behavior of patients with type 2 diabetes. Japan Journal of Nursing Science. DOI: 10.1111/jjns.12378

＜学会発表＞

1) 工藤理恵, 柴山大賀.(2020). 医療施設での看護実践における oral care の概念分析. 第 40 回日本看護科学学会学術集会、東京、日本. 発表日：2020 年 12 月 13 日

2) 工藤理恵, 柴山大賀. (2020). 外来で活動する日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の看護師の糖尿病患者への口腔管理に関する療養指導の現状とその関連要因. 第 25 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会、岩手、日本. 発表日：2020 年 9 月 19 日

□看護科学専攻　博士後期課程 2 年　　前田昌哉

□看護科学学位プログラム　博士前期課程 1 年　　市野沢征子

□看護科学学位プログラム　博士前期課程 1 年　　井上康浩

H. 国際看護学研究グループ

■教授　　竹熊カツマタ麻子

■助教　　杉本敬子

■助教　　トゴバタラ・ガンチメゲ

■助教　　福澤利江子

□看護科学専攻 博士後期課程 3 年 籠島 政江

□看護科学専攻　博士後期課程 3 年　Munguntuul Enkhbat

＜論文＞

1) Enkhzaya B, Munguntuul E, Ganchimeg T, Enkhjargal Ya, Nyamdawaa U, Naranbaatar N. Result of primary school of students' knowledge and practice of handwashing. The online conference of Result-based Quality Development 2020. Research article. Ulaanbaatar, Mongolia.

＜社会活動＞

1) Munguntuul E, Ganchimeg T. Book for children: "A boy learned to wash hands". April 2020. Ulaanbaatar, Mongolia. Published by Super shiidel. ISBN: 978-9919-23-550-5

■看護科学専攻 博士後期課程 3 年 Tsetsegmaa Parchaa

＜論文＞

1) Oyunchimeg Erdenee, Amartuvshin Tumejargal, Tsetsegmaa Parchaa, Chiho Yamazaki, Hiroshi Koyama. (2020). Distribution of midwives in Mongolia: A secondary data analysis. Midwifery 86 (2020) 102704. p 1-8. (Revised 6 March 2020. Accepted 11 March 2020)

＜学会発表＞

1) Tsetsegmaa Parchaa, Ganchimeg Togoobaatar, Rieko Kishi Fukuzawa, Keiko Sugimoto, Asako Katsumata Takekuma. (2020). Use of oxytocin for labor augmentation among low-risk pregnant women: a hospital-based study, Mongolia. Department of Global Health Nursing, Faculty of Medicine, University of Tsukuba. September 18 - October 18, 2020. TGSW2020, Digital Poster Session. University of Tsukuba, Japan.

2) Tsetsegmaa Parchaa, Ganchimeg Togoobaatar, Rieko Kishi Fukuzawa, Keiko Sugimoto, Asako Katsumata Takekuma. (2020). Case of delayed labor among low-risk pregnant women: a hospital-based study, Mongolia. Department of Global Health Nursing, Faculty of Medicine, University of Tsukuba. School of

Nursing, Mongolian National University of Medical Sciences. September 11 - 18, 2020. Online Oral Session. “Maternal and Child Health - Research” XXXI Scientific conference of the National Center for Maternal and Child Health of Mongolia.

＜翻訳＞

1) Ganchimeg Togoobaatar, Tsetsegmaa Parchaa, Amartuvshin Tumejargal, Oyunchimeg Erdenee, Ulambayar Shinejil, Munkhtsetseg Davaatseren, Naranbaatar Nyam. WHO Recommendations: Intrapartum Care for a Positive Childbirth Experience. Executive summary, p 39. “Super Shiidel’ publishing house, 2020.

2) Ganchimeg Togoobaatar, Tsetsegmaa Parchaa, Tsetsegsuren Khurelbaatar, Sarangerel Dashdemberel, Naranbaatar Nyam. International Childbirth Initiative: 12 steps to safe and respectful MotherBaby-Family maternity care. p 40. “Super Shiidel’ publishing house, 2020.

＜講演＞

1) Tsetsegmaa Parchaa (2020). “Emergency obstetric care”. Online course for 4th year midwifery students. February 2020, School of Nursing, Mongolian National University of Medical Sciences.

2) Ganchimeg Togoobaatar, Rieko Kishi Fukuzawa, Tsetsegmaa Parchaa (2020). “Respectful maternity care and Birth companionship”. Online course for 4th year midwifery students. September 2020, School of Nursing, Mongolian National University of Medical Sciences. Department of Global Health Nursing, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Japan.

＜社会活動＞

1) Tsetsegmaa Parchaa, Ganchimeg Togoobaatar, Sarangerel Dashdemberel. Book for mothers partners: “The Doula handbook”. June, 2020. Ulaanbaatar, Mongolia. Published by Super Shiidel. ISBN: 978-9919-23-985-5

2) Number of Copyright certificate 12120. Name of creation “The Doula handbook”. Type of creation: Written type of science and literature. Mongolian Intellectual Property Office. 12th October, 2020.

□看護科学専攻 博士後期課程 2 年 金城一平

□看護科学専攻　博士後期課程 2 年　内藤優子

＜翻訳出版＞

1) 分娩期ケアガイドライン翻訳チーム『WHO 推奨：ポジティブな出産体験のための分娩期ケア』WHO recommendations: Intrapartum care for a positive childbirth experience. 日本語訳.医学書院.2021 年 3 月.

＜社会活動＞

1) 淑徳大学　看護栄養学部　兼任講師（国際看護論）

2) 日本赤十字看護大学大学院　講演「カンボジアでの実践活動」.2020 年 11 月.

＜実践報告＞

1) 内藤優子.「カンボジアの保健医療施設における産婦を中心としたケアの実際」. 令和 2 年度人間総合科学学術院・研究科第 2 回 FD プログラム人間総合科学研究科武者修行型学修派遣支援事業報告.　2020 年 7 月

2) 筑波大学海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）「海外武者修行支援プログラム」企画代表者座談会. 2020 年 11 月.

□看護科学専攻　博士後期課程 2 年　中島久美子

□看護科学専攻 博士後期課程２年 宮原めぐみ

＜社会活動＞

1) 臨床倫理講演会.「日本における ACP の現状と行方-アメリカにおける訪問診療の経験を踏まえて-」専門医取得のための共通講習対象の講演会. 竹熊

カツマタ麻子　共同演者. 2020 年 11 月 20 日.

2) 国立病院機構看護管理者サードレベル.「ダイバーシティ」竹熊カツマタ麻子　共同演者. 2020 年 11 月 16 日.

□看護科学学位プログラム　博士後期課程 1 年　中田えいみ

□看護科学学位プログラム 博士後期課程 1 年　見延充美

□看護科学学位プログラム 博士後期課程 1 年　Munkhbaatar Bolorchimeg

□看護科学専攻　博士前期課程 2 年　松本知美

＜学会発表＞

1) 松本知美, 杉本敬子,小澤典子.(2020). 被虐待児と保護者への支援における乳児院職員の経験. 第 7 回日本フォレンジック看護学会学術集会. 8 月 29 日-9 月 30 日.口頭.オンライン. 栃木.日本(web 開催).(査読あり)

□看護科学専攻　博士前期過程 2 年　城所眞紀子

□看護科学専攻　博士前期課程 2 年　佐藤沙紀

＜競争的資金＞

1) 令和 2 年度 日本看護協会 小倉一春大学院教育（国際看護）奨学金　採択

□看護科学専攻　博士前期課程 2 年　椎葉奈子

＜論文＞

1) 椎葉奈子, 杉本敬子.(2021). 英国のコミュニティにおけるボランティア団体による子育て支援の実際ーホームスタート UK の視察からー. *日本国際看護学会*, 4(2).(査読あり, 掲載前)

＜学会発表＞

1) Nami Shiiba, Chankunthy Lak, Akiho Monma, Chisa Tachikawa, Keiko Sugimoto. (2020). An online chatting club using simple Japanese for non-Japanese mothers. Tsukuba Global Science Week 2020 Digital Poster Session. 18th September-18th October. Poster. Ibaraki. Japan (Online).（査読あり）

2) 太刀川知沙，椎葉奈子，門馬明帆，杉本敬子.（2020）. 妊娠期から育児期における在日外国人女性へのソーシャルサポートに関する文献検討. グローバルヘルス合同学会 2020（第 61 回日本熱帯医学会大会，第 35 回日本国際保健医療学会学術大会，第 24 回日本渡航医学会学術集会，第 5 回国際臨床医学会学術集会 合同大会）. 11 月 1 日-3 日. ポスター. 大阪. 日本（Web 開催）.（査読あり）

3) ラックチャンクンティ，椎葉奈子，杉本敬子，入山美保.（2020）. 外国人妊産婦のためのソーシャルサポート質問票やさしい日本語版. 日本国際看護学会 第 4 回学術集会. 11 月 22 日. 口頭. Web 開催.（査読あり）

4) 門馬明帆，椎葉奈子，太刀川知沙，Lak Chankunthy，杉本敬子，前島朋子.（2020）. 在日外国人家族を対象としたオンラインによる子育て支援. 第 39 回茨城県母性衛生学会学術集会. 12 月 5 日（オンデマンド配信 12 月 6 日-1 月 31 日）. 口頭(事前録音). Web 開催.（査読あり）

＜競争的資金＞

1) 令和 2 年度小倉一春大学院教育（国際看護学）奨学金　採択

＜シンポジウム＞

1) 椎葉奈子.（2021）. オンライン上の多国籍子育て支援. 第 3 回「地域社会と多文化共生」シンポジウム パート 2 学生発表. 2 月 6 日. web 開催.

＜社会活動＞

1) 多国籍子育て支援「にほんご　で　おしゃべり！」(共催：NPO 法人 kosodate はぐはぐ).

Ⅳ. 大学院生支援

1. 学生数の状況

1)入学者および修了者数(再入学生を含める)

	入学者数	修了者数	
		春学期	秋学期
博士前期	12 名	1 名	16 名
博士後期	7 名	0 名	4 名

2)在籍学生数、うち休学者数　2021 年 1 月末現在

		在校生数	休学者数
博士前期課程	1 年	12 名	1 名
	2 年	18 名	1 名
博士後期課程	1 年	7 名	1 名
	2 年	7 名	1 名
	3 年	19 名	6 名
その他			
研究生		1 名	
退学者		1 名	

2. 大学院生支援委員会の活動

1)新入生オリエンテーションの実施　　収録動画をオンデマンド配信

2)新入生歓迎会の実施　　COVID-19 のため中止

3)研究成果発表のための国内外学会等への参加派遣に伴う旅費支援の提案と支援対象に関する審議　　COVID-19 のため中止

4)看護科学専攻・学位プログラムにおける「学生支援対応チーム」[注1)]としての活動

a. 様々な問題を抱えた学生に対するメンタル面での支援を目的とした面談の実施：
　随時（できるだけ複数人体制での対応を心がけた）

b. 休学および復学志望者への面接・相談：随時（大学院生支援委員長）

c. 指導および就学困難なケースへの支援と面接等への同席：随時

d. その他

5)その他の活動

a. TA、TF、RA の時間配分

b. 人間総合科学研究科長賞、看護科学専攻長賞候補者の推薦順位付け

令和3年2月時の看護科学専攻・学位プログラム教育会議において、「看護科学専攻長賞の申し合わせ」に則り、受賞候補者として指導教員より推薦された前期課程修了予定者 2 名、後期課程修了者 2 名から、人間総合科学研究科長賞候補として前期、後期各1名、また、看護科学専攻長賞として前期、後期各1名を選出し、会議出席者より同意を得た。

c. キャリア支援担当委員会委員として就職に関する情報の配信

d. ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリア委員[注2)]（大学院生支援委員長）としての活動

注1)「学生支援対応チーム」の役割（学生支援・自殺対策WG報告書（2011.5）から抜粋）《キーワードは、つながる、つなげる、つながりあう》

(1)保健管理センターなど各支援組織との連携の窓口になる。

・保健管理センター等から学生の件について連絡・相談があった場合の窓口になる。

(2) クラス担任や指導教員へのサポートを行う。

・クラス担任や指導教員から学生についての相談を受け、一緒に対応する。

(3)所属する学生の不適応状況の把握と教育組織としての対応を行う。

・履修申請状況や単位取得状況について支援室からなるべく早く情報を得る。

・休学や復学、退学、留年などについての状況の把握と個別の支援・対応策を検討し、実施する。

（具体的には、 a)学業や研究がうまく進んでいない学生への対応　 b)復学のための具体的な支援策の構築　 c)留年等により担任が代わる場合には、新しい担任と連携を図る　 d) 休学や退学が頻発するような場合は教育組織として適切な対応を図るなど）

注2)平成28年4月より「障害者差別解消法」の施行を受けて、大学全体として障害者等に対する合理的配慮が必要となった。これを受けて、ダイバーシティ・アクセシビリティー・キャリアセンターが開設され、大学院生支援委員長が担当委員となっている。

3. 今後の課題

筑波大学は、平成 23 年度より学生に対して直接指導を行う指導教員等を支援すること並びに各教育組織において学生対応に係る対策検討等のために、各学群・専門学群、各専攻単位で「学生支援対応チーム」を設置している。看護科学専攻・学位プログラムにおいては看護科学専攻長・学位プログラムリーダーと大学院生支援委員から構成されている。今後は、これまでの活動を維持し、さらにより一層大学院生の学業や研究の完遂のための学生生活に関わる支援体制をチームとして取り組む形で強化していく必要がある。具体的には学生への支援対応チームからの一斉メールの配信、大学院生支援委員相互の情報交換を活発化し、事例に対して委員が個別に対応することはできる限り避け、複数人の教員によってチームで対応する方針を再確認する。今度の課題として、異なる文化的背景をもち日本語でのコミュニケーションが十分とは言えない留学生が今後増加すると考えられるため、支援体制をどのように構築するか、議論する必要があろう。

特に、今年度は COVID-19 の感染拡大によって、緊急事態宣言が発令され、4 月 1 日より大学への入構が禁止されたため、新入生オリエンテーション並びに講義は、授業動画によるオンデマンド配信となり、新入生歓迎会も中止となった。春学期の間は大学への入構制限が継続され、新入生にとって一堂に会する機会を失い、指導教員や所属する教室の構成員とのやり取りのみとなり、精神的につらい日々を送っていたことは想像に難くない。秋学期から対面授業が中心となり春学期よりは落ち着いた感があるが、新入生、在校生ともに昨年度までの学生と比較して厳しい環境に置かれたことは明白である。このように心身の健康の危機的状態において、いち早く学生の抱えるストレスや想いを指導教員とともに受け止め対応していく体制作りが必要であると考える。

この他、次年度においても、TA,TF,RA の時間配分について学生が学業を全うするのに障害とならないよう継続して指導教員とともに調整を行うこと、訂正され点数化により客観化された選考基準に基づいて、看護科学専攻長賞並びに人間総合科学研究科長賞を選出することは継続する。今年度は COVID-19 のために中断したが、学会等への参加時の旅費支援は、次年度はできることなら再開したい。

大学院生支援委員会として、今後も大学院生が学業、人間関係等に悩みを抱えるも相談することを躊躇し、大学院生が学業や人間関係等の悩みを相談できず孤独に陥ることを予防するため、できるだけ迅速かつ適切な支援を今後も継続実施していく方針である。

Ⅴ.社会貢献と国際交流

国際交流

令和２年度は、コロナウイルス感染症の関係で海外渡航が禁止となっている状況から学生の海外派遣や海外留学が実施できない一年となった。しかしながら、オンライン会議システムを使った国際交流を実施することができた。今年度は「新型コロナ流行下の看護技術教育：米国におけるオンラインを活用した学内演習と病院実習」（講師：米国パース大学　岩間恵子先生）をテーマにセミナーを開催した。

米国の看護大学におけるコロナ流行下の学内演習と臨地実習について、具体的な感染予防対策、授業の準備・実施・評価の方法、実習病院と大学の連携、今後の課題などについて米国の状況や具体策、リソースの情報共有等もして頂いた。このような世界的パンデミックの中にありながら、米国において看護師たちがどのように、市民の健康を守るために権利の擁護や、政策への提言などのアクションを起こしているということも学ぶことができ、社会の中での役割モデルとしての看護職の在り方学ぶことができた。来年度、コロナウイルスの感染症の状況が好転したら引き続き協定校である、ホーチミン市医科薬科大学（ベトナム）、モンゴル国立医科大学（モンゴル）、イリノイ大学シカゴ校（アメリカ）、聖アンソニー看護大学（アメリカ）、南インディアナ大学（アメリカ）、国立台湾大学（台湾）、国立成功大学（台湾）との交流を再開させ、有意義な国際活動を展開していきたい。